

平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 日本ファルコム  
 コード番号 3723 URL <http://www.falcom.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 近藤 季洋  
 (氏名) 中野 貴司

TEL 042-527-0555

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	470	16.0	137	116.0	138	115.1	89	113.7
25年9月期第2四半期	405	11.0	63	301.7	64	278.9	41	396.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	8.71	—
25年9月期第2四半期	4.08	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
26年9月期第2四半期	2,580		2,487		96.4	242.00
25年9月期	3,160		2,470		78.2	240.29

(参考)自己資本 26年9月期第2四半期 2,487百万円 25年9月期 2,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成25年9月期の期末配当金の内訳 普通配当5円00銭、記念配当2円00銭

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	3.2	750	5.5	750	5.4	460	5.5	44.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	10,280,000 株	25年9月期	10,280,000 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	33 株	25年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	10,279,980 株	25年9月期2Q	10,280,000 株

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。このため発行済株式(普通株式)は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に関する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社はコンテンツメーカーとして、オリジナリティあふれるゲームコンテンツ及びサービスの創出を行い、その魅力を様々な分野・プラットフォームを通じて世界中のお客様にお伝えすることに努めております。

当第2四半期累計期間の製品部門におきましては、東京ゲームショウにおいて日本ゲーム大賞フューチャー部門を受賞し、平成25年9月に発売したPlayStation®Vita及びPlayStation®3向けゲームソフト「英雄伝説 閃の軌跡」の販売が継続しております。この「閃の軌跡」は平成25年12月に株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント主催の「プレイステーション®アワード2013」においてユーザーにより選出される「ユーザーズチョイス賞」を受賞し、高い評価をいただいております。「閃の軌跡」の続編で、平成26年に生誕10周年を迎えた「軌跡シリーズ」の記念タイトルである「英雄伝説 閃の軌跡Ⅱ」を鋭意制作中でございます。

また、イース生誕25周年記念作品である「イース セルセタの樹海」を「PlayStation®Vita the Best」シリーズとして平成25年10月に発売し、軌跡シリーズ中屈指の人気を誇る「英雄伝説 碧の軌跡」及びサクサク楽しめるアクションの爽快感と、じっくりと物語を楽しむRPGとしてのストーリー性を融合した新ジャンル「ストーリーARPG」として誕生した意欲作「那由多の軌跡」を「PSP® the Best」シリーズとして、それぞれ平成25年10月と平成26年3月に発売しました。

その結果、製品部門の当第2四半期累計期間の売上高は179百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

ライセンス部門におきましては、海外においてPCゲームの大手ダウンロード販売サイトであるSTEAMでの当社英語版ゲームソフトの販売が好調だった他、平成25年11月に北米でPlayStation®Vita向けゲームソフト「イース セルセタの樹海」の英語版を発売し、平成26年2月には欧州でも発売しました。海外のユーザーにも好評を博しており、販売も順調に推移しました。また、当社のIPを利用したライセンス案件等の引き合いも活発化しております。

その結果、ライセンス部門の当第2四半期累計期間の売上高は290百万円（前年同期比52.7%増）となりました。

それらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は470百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は137百万円（前年同期比116.0%増）、経常利益は138百万円（前年同期比115.1%増）、四半期純利益は89百万円（前年同期比113.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、主に現金及び預金が620百万円増加したことに対し、売掛金が1,169百万円減少したことにより2,580百万円(前事業年度末比18.3%減)となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、主に買掛金が227百万円減少したこと、未払法人税等が269百万円減少したことにより93百万円(前事業年度末比86.5%減)となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、主に配当金の支払い71百万円があったことに対し、四半期純利益を89百万円計上したこと等により2,487百万円(前事業年度末比0.7%増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年11月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,835,343	2,455,350
売掛金	1,198,438	28,619
製品	4,449	1,769
原材料	5,878	4,651
その他	49,061	22,949
流動資産合計	3,093,170	2,513,340
固定資産		
有形固定資産	8,460	7,722
無形固定資産	9,007	8,678
投資その他の資産	49,730	51,115
固定資産合計	67,199	67,515
資産合計	3,160,369	2,580,855
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	233,908	6,294
未払法人税等	297,420	27,663
賞与引当金	21,000	11,250
その他	137,875	47,897
流動負債合計	690,204	93,106
負債合計	690,204	93,106
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	164,130	164,130
資本剰余金	319,363	319,363
利益剰余金	1,986,672	2,004,292
自己株式	—	△36
株主資本合計	2,470,165	2,487,749
純資産合計	2,470,165	2,487,749
負債純資産合計	3,160,369	2,580,855

(2) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	405,454	470,388
売上原価	63,440	51,288
売上総利益	342,014	419,100
販売費及び一般管理費	278,503	281,899
営業利益	63,510	137,200
営業外収益		
受取利息	199	226
未払配当金除斥益	499	702
営業外収益合計	699	929
経常利益	64,209	138,130
税引前四半期純利益	64,209	138,130
法人税、住民税及び事業税	9,615	26,157
法人税等調整額	12,680	22,392
法人税等合計	22,296	48,550
四半期純利益	41,913	89,580

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	64,209	138,130
減価償却費	3,500	2,797
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,750	△9,750
受取利息及び受取配当金	△199	△226
売上債権の増減額(△は増加)	282,488	1,169,818
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,219	3,906
その他の資産の増減額(△は増加)	△4,777	2,335
仕入債務の増減額(△は減少)	△54,843	△227,613
未払金の増減額(△は減少)	△47,021	△54,831
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,751	△35,004
その他の負債の増減額(△は減少)	△989	△4,811
小計	214,645	984,751
利息及び配当金の受取額	199	226
法人税等の支払額	△88,297	△292,667
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,548	692,310
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△217	△800
無形固定資産の取得による支出	△1,411	△930
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,629	△1,730
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△36
配当金の支払額	△50,395	△70,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,395	△70,573
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	74,522	620,006
現金及び現金同等物の期首残高	1,964,593	1,835,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,039,116	2,455,350

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。